

浪打中学校
学校だより
第8号
10月26日(木)



《発行》
青森市立浪打中学校教頭 武井まゆみ
青森市合浦一丁目11-10
☎ 017-741-6461



令和5年度浪中祭 テーマ「開花」

10月21日(土)～22日(日)、今年度の浪中祭が開催されました。参観者の入場制限がなくなったため、たくさんの保護者の方、地域の方、来賓の方に見ていただくことができました。生徒たちは、ステージ発表、展示発表だけでなく、校内装飾や案内表示、会場準備、アナウンスなど、自分たちの力で浪中祭を創り上げました。また、全校生徒で制作したモザイクアート、生徒会を中心に催した開・閉祭式や自主企画、合唱発表など、浪中生一人一人の花が見事に開花しました。さらに、今年度は、PTA浪中祭委員会の皆さんの御尽力により、軽食販売も行うことができました。本当にありがとうございました。

準備のようす

保健委員会

1・2年生合唱練習

校内装飾

国語科展示

展示発表



園芸部・書道部



美術科展示



3学年展示



2学年展示

技術・家庭科展示

国語科展示



5・6組展示

部活動展示



1学年展示

保健展示



ステージ発表

開祭式

NAST発表

3年ダンス発表

拍手
喝采

自主企画

3年1組合唱

3年2組合唱

合唱は、初めのころ、声も全然出せていなかったけど、練習を重ねていくうちに、クラス全員が声を出して、音に合わせて歌うことができるようになり、きれいなハーモニーで歌えるようになりました。本番が近づいてくると、緊張のせいなのか、声のボリュームが小さくなってしまいましたが、本番前にクラスのみんなで円陣を組み、本番を迎えました。全校のトップバッターで緊張に押しつぶされそうになりながらも、今までの注意と笑顔で歌うというところを意識しながら、全力で歌うことができたのでよかったです。

NAST発表では、CMを作ることに苦戦しました。どんなCMにするか、何が必要かなど班のみんなで大くさん話し合いました。CMを作るのは簡単だと思っていましたが、何回も動画を撮り直しました。本番では操作をする係でしたが、うまくできたのでよかったです。(1年 SR)

私は生徒会役員として、浪中祭に向けてかなり前から準備を始めていました。テーマを決めたり、企画を考えたり…。毎日、日が沈むまで準備をするのは、とても大変でした。しかし、生徒会が主体となって行う行事なので、私も生徒会のみんなも、今まで以上に気合いが入ったのを覚えています。

そして、浪中祭1日目。開祭式は私たち生徒会のダンスから始まります。アナウンスが流れるまで、ステージの上で緊張に押しつぶされてしまいそうでした。そんな時、生徒会長がみんなに「頑張ろうね」と声をかけ、少しだけ緊張がほどけました。そのお陰か、ダンスも失敗せずに踊りきることができました。

きっと、3年生になるとさらに忙しくなるでしょう。仲間と共に一つのものをつくり上げる楽しさを知り、来年も浪中祭を成功させたいです。(2年 KM)

私が浪中祭で頑張ったことは、学年展示、合唱、ダンス発表、自主企画の4つです。

学年展示は、リングのスタンドグラスを作成しました。デザインから始まり、丁寧に作ることで、暖色で揃えてスタンドグラスらしく華やかになることを心がけました。自分が納得いく出来に作ることで、とても誇らしいです。

合唱は、私はハーモニー青浪にも所属し、どちらもソプラノを担当しました。みんなが私の声の大きさをとても頼りにしてくれました。その期待に応えるべく、一つ一つの練習を大切に、いつでも全力で歌いました。先生や友達のアドバイスや指摘のお陰で、パートリーダーとハーモニー青浪のリーダーの務めを全うすることができました。本番では、今までで一番の合唱になりました。

自主企画では、「オトナブルー」を歌い、踊らせていただきました。練習はじめの時は、歌詞もなかなか覚えられず、ダンスもあやふやな点が多かったので、最後まで不安でした。しかし、自信を持って堂々とステージに立ち、最後までやりきれました。間違えることもなく、全力で踊ることができて楽しかったです。

中学校最後の浪中祭で、こんなに多くのことを成し遂げることができたのは、支えてくれた人たちのお陰です。(3年 NM)